

褥瘡対策・栄養サポート委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。7月は、薬剤師 木村和彦さん（NSTスタッフ）より「食事と薬」についての勉強会でした。

食事と薬について

グレープフルーツと薬の飲み合わせ

小腸粘膜のCYP3A4（代謝酵素）とP糖蛋白を阻害

◆Ca拮抗剤（アダラートなど）

ノルバスク、ヘルベッサーを除く

◆ネオオーラル、プログラフ、テグレトール、リピトールなど

食事と薬の服用時間

- ・食後（食事のおよそ30分後）
- ・食前（食事のおよそ30分前）
- ・食間（食後2時間後・空腹時）
- ・食直後
- ・食直前
- ・就寝前



牛乳と薬の飲み合わせ

＝ミルク・アルカリ症候群＝

大量の牛乳を日常的に摂取している場合

「大量の牛乳」の目安…

1回に500mLを超える。または1日1L程度を飲用する場合。

身体の要求量・排泄能力以上のカルシウム摂取により吸収が高まる可能性がある。

（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）

◆マグネシウム、カルシウム剤

＝牛乳と一緒に服用すると、吸収が悪くなる薬剤＝

◆クラビット、ミノマイシンなど



食事や食品成分が薬の体内動態に与える影響は、「食事を摂るタイミング」「食品に含まれる成分」「栄養状態」で変化します。また、薬を服用している場合のサプリメントの利用が薬の効果を高めたり、逆に抑制するなど医薬品の作用に影響する例も散見されています。

＝次回 勉強会のお知らせ＝

9月は「栄養とリハビリ」10月は「褥瘡とリハビリ」をテーマに勉強会を予定しています。

詳細は、後日お知らせいたします。なお、8月の勉強会は休会です。